

リモートワークをより快適に行うためのTips

VPNとインターネット（Web会議）を ハイブリッド接続する方法について 【自動設定ツール版】 ＜設定手順書＞



2024年5月

株式会社NTTPCコミュニケーションズ

01. はじめに

新型コロナウイルスの影響をきっかけに在宅勤務を行われる方々が急激に増加した結果、インターネット全体のトラフィックは以前と比べ4割増えている事態となっております。

速度低下の主な要因として、Web会議需要の急増が要因の1つと考えられます。

対策として、リモートデスクトップ上から動画再生やWeb会議を行うのではなく、インターネット経由での実施に切り替えるようにご協力をお願いしたく本資料を作成致しました。

本手順にて設定しますと、VPNとインターネットの同時利用が可能となり結果として、VPNを利用したリモートデスクトップ接続の速度も向上すると考えられます。

何卒、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

02. ご注意事項

本設定に関しては、以下の注意事項をご確認、ご了承の上、設定をお願いします。

- **本設定にあたっては、利用するVPNの管理者（貴社情報システム部門等）にセキュリティポリシーに抵触しないか、必ずご確認ください。**
- **本設定は、動作を保証するものではありません。また、本設定の使用に関連して生じたあらゆる損害等については一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。**
- **事前に、設定用の実行ファイルをダウンロード／保存しておく必要があります。**

追記

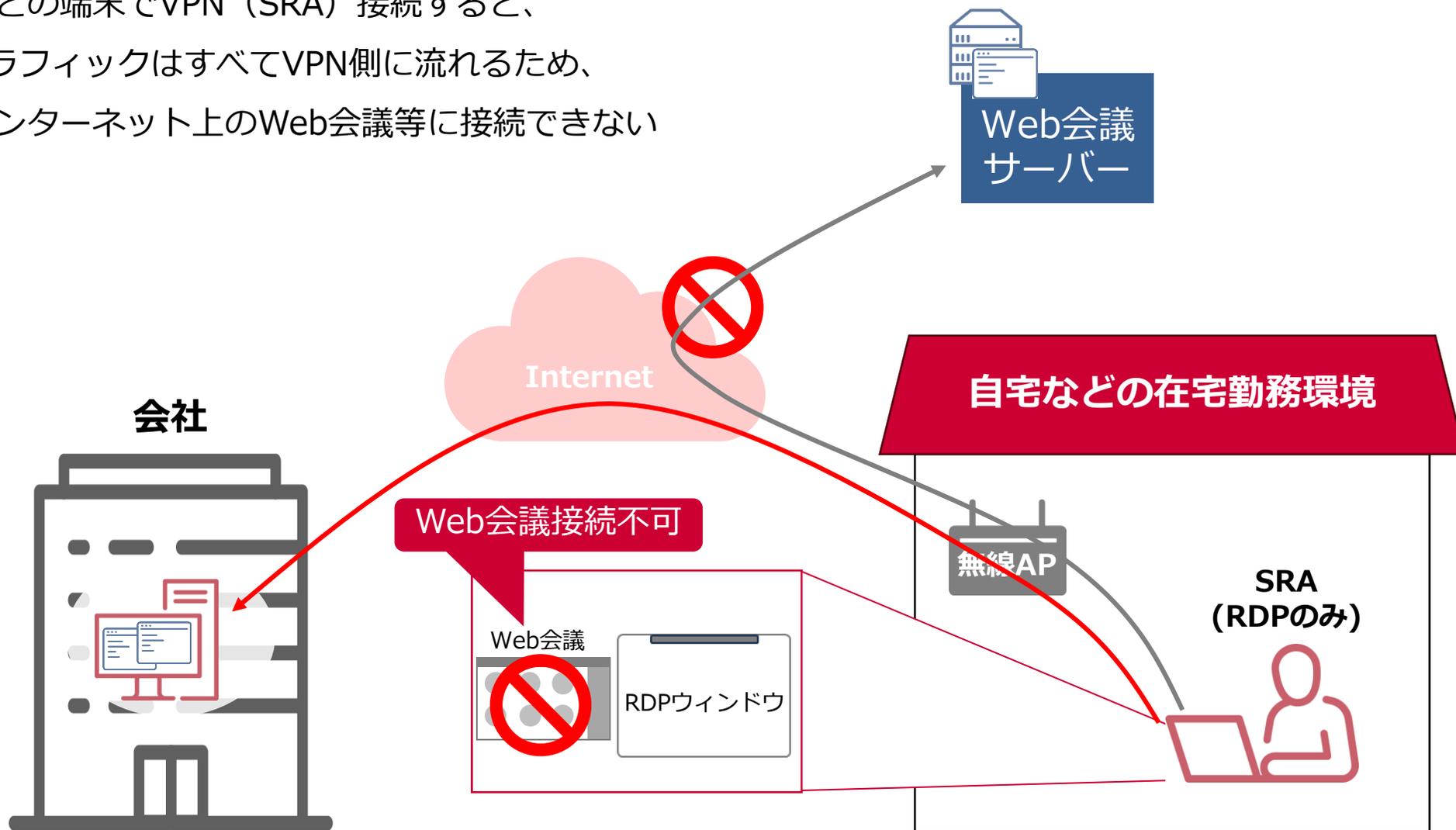
『Master's ONE® セキュアモバイル定額通信サービス / セキュアリモートアクセスご利用時の影響対策方法（2020年4月13日）（2020年4月15日）』との差分は以下点です。

- ① コマンドを手入力する必要がありません
- ② VPN名に非ASCII文字（日本語/中国語等）が含まれているケースに対応しました
- ③ 1つの端末に複数のVPNが設定されているケースに対応しました
- ④ Windows11でも動作するように対応しました <NEW>

03. 概要説明

設定前

自宅などの端末でVPN (SRA) 接続すると、
NWトラフィックはすべてVPN側に流れるため、
直接インターネット上のWeb会議等に接続できない



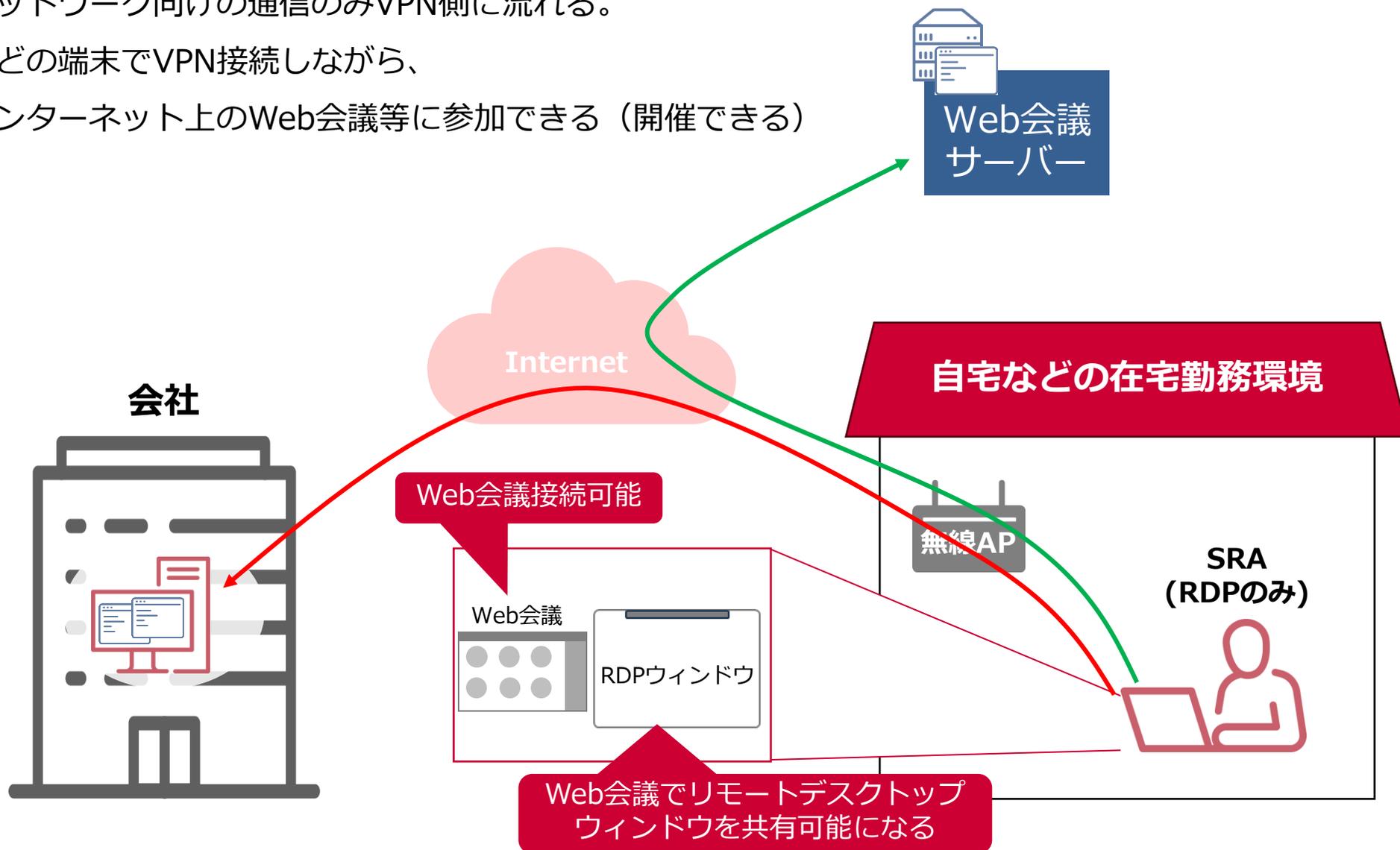
03. 概要説明

設定後

社内ネットワーク向けの通信のみVPN側に流れる。

自宅などの端末でVPN接続しながら、

直接インターネット上のWeb会議等に参加できる（開催できる）



03. 概要説明

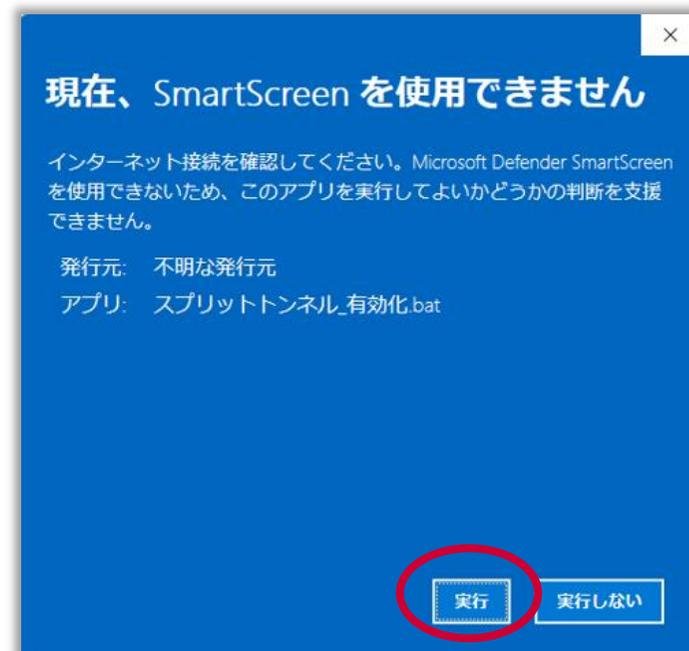
通常環境では先述の通り、インターネット接続とVPNを同時に ご利用する事が出来ません。

これを可能にするためには、「**スプリットトンネル**」と呼ばれる設定を実施します。

次ページから「スプリットトンネル」の設定方法を紹介します

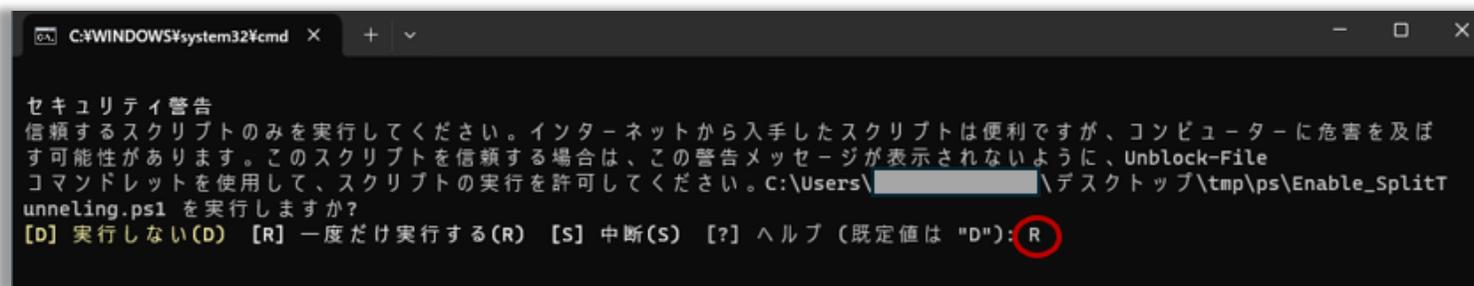
04. 設定方法 (Windows10・11) :1/3

1. ハイブリッド接続の設定ツール「スプリットトンネル_設定バッチ.zip」を「https://dm.nttpc.co.jp/lp/fol_tool.html」から「SplitTunneling_tool_w11.zip」をダウンロードし、設定をする対象のPC（以下「利用PC」と言います）のデスクトップ等へ保存します。
2. 「SplitTunneling_tool_w11.zip」を解凍します。
※解凍したフォルダ構成は崩さないようにしてください。
3. 利用PCからセキュアリモートアクセス（SRA）を接続します。
※予めセキュアリモートアクセス（SRA）のマニュアルを参照し接続設定を完了しておいてください。
4. 利用PC上で、「2」で解凍した、「スプリットトンネル_設定バッチ」フォルダ内の実行ファイル「スプリットトンネル_有効化.bat」をダブルクリックします。
実行確認の画面が表示されたら「**実行**」（または、「**詳細情報**」→「**実行**」）を選択します。

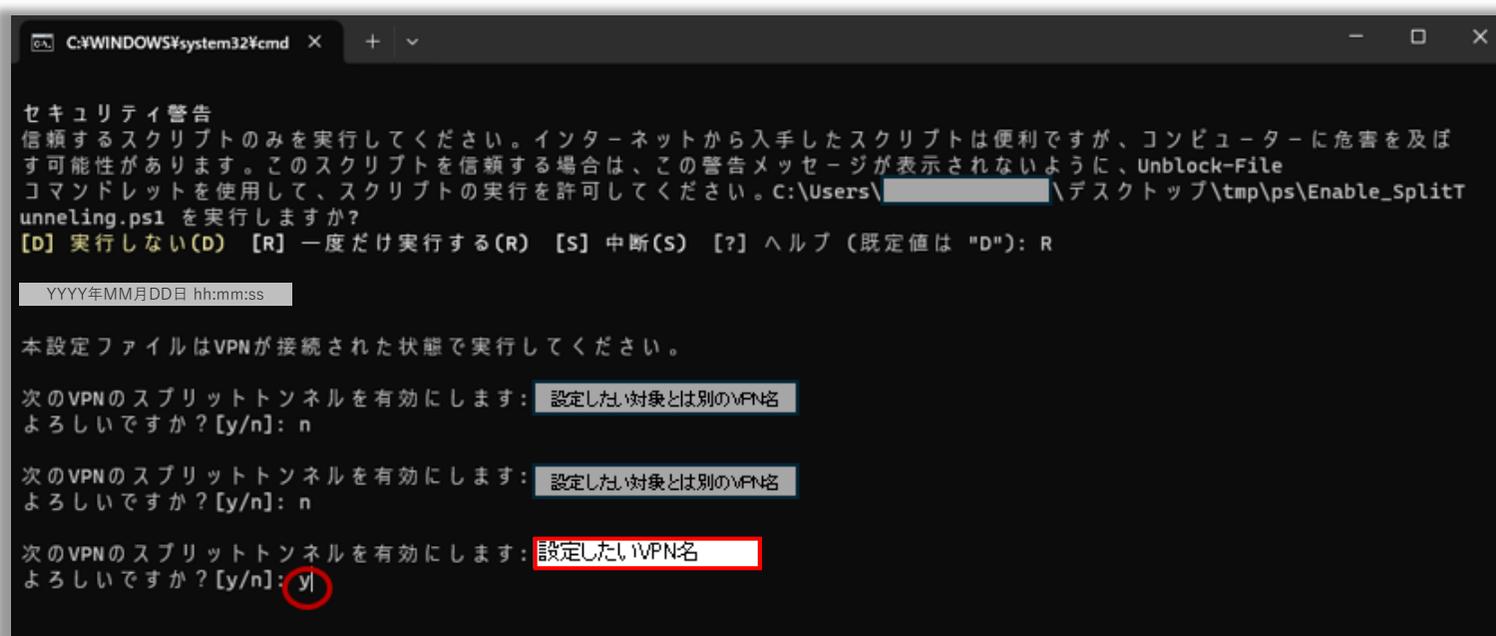


04. 設定方法 (Windows10・11) :2/3

- PowerShellが自動起動します。スクリプトの実行許可の確認の入力を求める画面が表示されたら、「R」を入力します。



- スプリットトンネルを有効にするかどうかの確認がVPNごとに表示されます。対象のVPN名の時に「y」を入力します。



04. 設定方法 (Windows10・11) :3/3

7. 処理が行われ、「設定が完了しました。〈VPN名〉を一度切断し、再接続した後にスプリットトンネルが有効となります。」と表示されれば完了です。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd
Publish :
Store :
ValidLifetime :
PSComputerName :

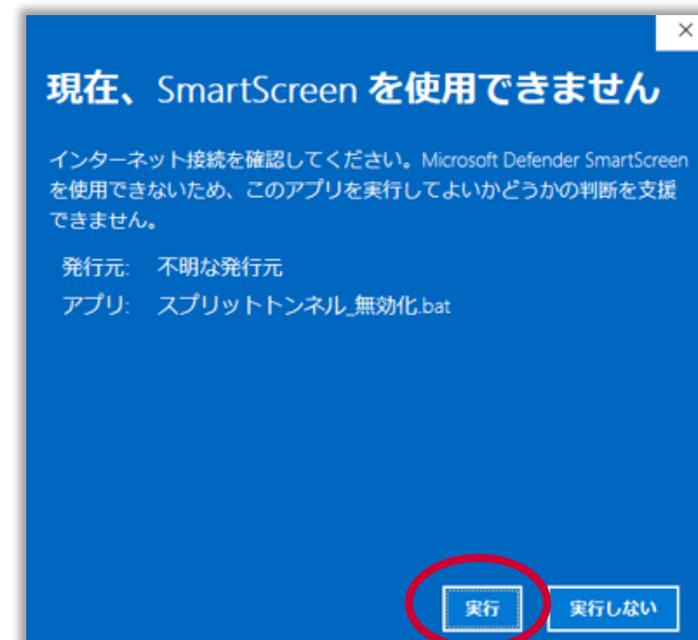
Caption :
Description :
ElementName :
InstanceID :
AdminDistance :
DestinationAddress :
IsStatic :
RouteMetric :
TypeOfRoute :
AddressFamily :
DestinationPrefix :
InterfaceAlias :
InterfaceIndex :
NextHop :
PreferredLifetime :
Protocol :
Publish :
Store :
ValidLifetime :
PSComputerName :

設定が完了しました。〈VPN名〉を一度切断し、再接続した後にスプリットトンネルが有効となります。
続行するには、Enter キーを押してください...
```

8. VPNを一度切断して、再接続を行ってください。

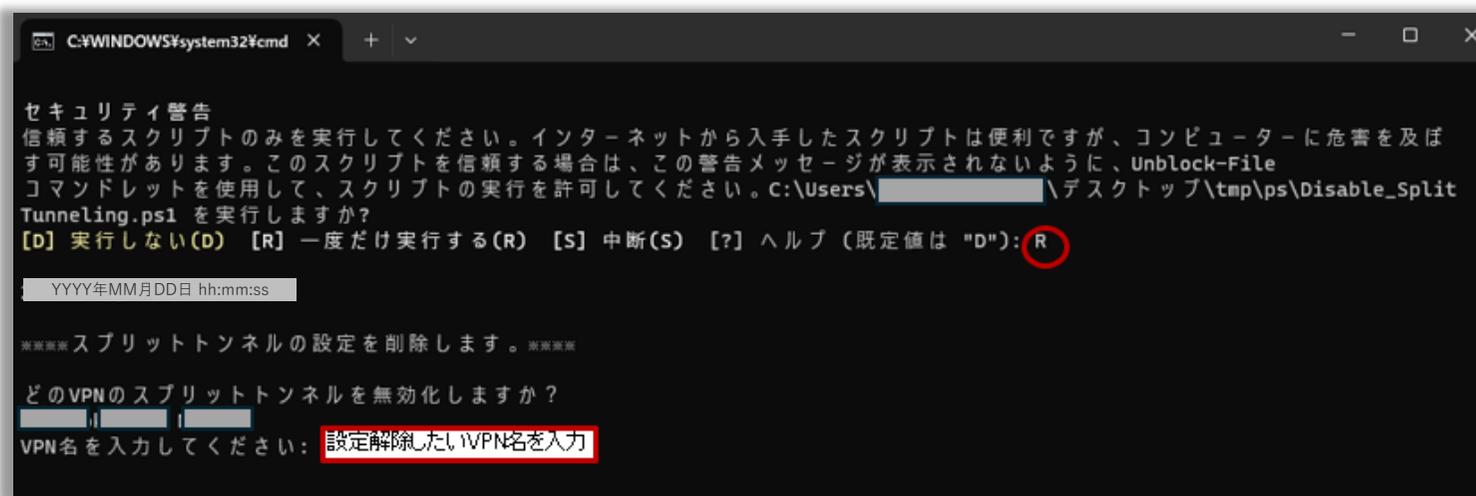
05. 設定解除方法（Windows10・11）:1/2

1. ハイブリッド接続の設定ツール「SplitTunneling_tool_w11.zip」を「https://dm.nttpc.co.jp/lp/fol_tool.html」からダウンロードし、設定をする対象のPC（以下「利用PC」と言います）のデスクトップ等へ保存します。
2. 「SplitTunneling_tool_w11.zip」を解凍します。
※解凍したフォルダ構成は崩さないようにしてください。
3. 利用PCからセキュアリモートアクセス（SRA）を接続します。
※予めセキュアリモートアクセス（SRA）のマニュアルを参照し接続設定を完了しておいてください。
4. 利用PC上で、「2」で解凍した、「スプリットトンネル_設定バッチ」フォルダ内の実行ファイル「スプリットトンネル_無効化.bat」をダブルクリックします。
実行確認の画面が表示されたら「**実行**」（または、「**詳細情報**」→「**実行**」）を選択します。



05. 設定解除方法 (Windows10・11) :2/2

5. スクリプトの実行許可の確認が表示されたら「R」を入力します。
6. 「どのVPNのスプリットトンネルを無効化しますか？」の後にVPN名が表示されます。
7. 「VPN名を入力してください：」の後に、設定を解除する「VPN名」を入力します。



8. 処理が行われ、「設定が完了しました。〈VPN名〉を一度切断し、再接続した後にスプリットトンネルが無効となります。」と表示されれば完了です。
9. VPNを一度切断して、再接続を行ってください